

## 広報編集特別委員会 研修レポート

### テーマ 1. 絶滅危惧から持続可能な議会広報 2. 住民に伝わる情報発信と広報紙作成のポイント 3. 優秀議会広報が教えてくれること

令和4年9月21日(水)、東京都シェーンバッハ・サポーター1階「利根」において全国町村議会広報研修会が開催されました。住民に情報が伝わる広報紙とは、①住民参加による共感、②写真と文字のバランスを考えたい見やすさ、③タイトルや見出しを工夫したわかりやすさを意識して編集することが重要とのことでした。

また、伝えたいことが住民に伝わったかどうかを考えて編集に取り組むことを通して、これからの「おおづまち議会だより」の発行ビジョンをどのように考えるのかを学びました。

今回の研修を通して、議会だよりの内容を常に見直しながら、住民に発信した情報が理解してもらえているのかを確認していきたいと思います。



## 熊本県町村議会 議員研修レポート

### テーマ 「地方創生とまちづくり」 徳島県神山町 ～人口5000人の小さな町はなぜ進化し続けるのか～



令和4年10月4日(火)、熊本県立劇場コンサートホールにおいて熊本県町村議会議員研修会が開催されました。徳島県神山町では、「日本の田舎をステキに変える」を合言葉に、創造的な人材を呼び込むアーティスト・イン・レジデンスや神山塾、サテライト・オフィス誘致などにより、移住支援に力を入れ、人口構成の健全化を図られています。ICTインフラ等を活用し、多様な働き方を実現できるビジネスの場としての価値を高めることにより、農林漁業のみに頼らない、バランスのとれた持続可能な地域を目指す取り組みもされています。

また、ふるさと納税を活用した学校設立「神山まると高専」プロジェクトとして来年4月には、学生数200名の学校が開校することです。

本町においてもTSMCの進出などによる環境の変化に対応しながら、人材集積と地域内経済循環による地方創生に取り組んでいきます。